

2013年6月17日  
公益財団法人イオン環境財団

## ボランティアの皆さまとともに5,000本を植樹します 6/22(土)北海道むかわ町にて第2回「イオンの森づくり」を実施

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役、以下当財団）は、6月22日（土）に北海道むかわ町とともに第2回「イオンの森づくり」を実施します。

むかわ町は、三方を日高山脈系に囲まれ、南北には全国でも屈指の清流度を誇る一級河川<sup>むかわ</sup>が流れ、その清らかな水は太平洋へ注がれています。森は川を通し、豊富な栄養分を含んだ水を海へと運び、魚などの生息環境を守るといわれています。こうした森は、「魚つきの森」と呼ばれ、山、川、海の生態系のつながりという観点から森林の機能が再認識されています。

昨年、当財団はこの「魚つきの森」を守るため、むかわ町と森林整備協定を締結し森林の荒廃がみられるエリアに3カ年計画で約15,000本の植樹をする「イオンの森づくり」を開始しました。計画初年度の昨年は、ボランティアの皆さま約550名と5,000本の植樹を行いました。

本年は、約500名のボランティアの方々とともに、地域に自生するトドマツやシラカンバ、ミズナラなど5,000本を植樹します。これにより、むかわ町での植樹本数は10,000本となります。

当財団は、水と緑を守る活動として北海道ではこれまでに知床や支笏湖で植樹を行っています。また本年、国内では千葉県浦安市、愛知県知多市、三重県紀北町、長崎県南島原市、宮崎県綾町、海外ではミャンマー、インドネシア、ベトナム、中国で植樹活動を実施します。

当財団による植樹と地域のお客さまとともに店舗の敷地内に植樹をする「イオン ふるさとの森づくり」で植樹した本数の合計は、本年度で1,000万本を迎える予定です。

イオンは、生物多様性の保全のため、これからも国内外で地域の皆さまとともに木を植え続けてまいります。

### 【「イオンの森づくり」について】

1. 日 時：6月22日（土）10:00～12:00
2. 場 所：北海道勇払郡むかわ町豊城432番地32
3. 植 樹 本 数：5,000本（累計10,000本）
4. 樹 種：トドマツ、アカエゾマツ、シラカンバ、ミズナラ、アオダモ、ハルニレ
5. 植 樹 面 積：2.5ha（累計5ha）
6. 参 加 人 数：約500名
7. 主な出席者：北海道勇払郡むかわ町長  
北海道胆振総合振興局長  
公益財団法人イオン環境財団理事長  
イオン北海道株式会社代表取締役社長  
マックスバリュ北海道株式会社代表取締役社長  
山口 憲造 様  
田邊 隆久 様  
岡田 卓也  
柴田 祐司  
出戸 信成
8. 主 催：北海道勇払郡むかわ町、公益財団法人イオン環境財団
9. 協 力：北海道水産林務部、北海道胆振総合振興局、イオン北海道株式会社、マックスバリュ北海道株式会社